

軍事・歴史・政治・経済研究紙

本紙の年間購読は本体 3,000 円 + 税です。

特権階級と地方官吏
 人民政府は「人民」の名において、人間社会を円滑にコントロールする役目を担わされているが、この社会は一握の党幹部が一方的な権力を握って、専制政治を行う国家である。こうした国家では必ず裏と表が表面化して浮き彫りになり、共産主義の第一のテーゼであった「平等」は遙か彼方に引き下がる。

表門は建前上の狭き入口であり、裏門は一握の特権階級のための隠された入口である。こうした裏門を中国では「走后門」という。

この走后門は「赤い後継者」といわれる幹部の子弟のために、裏側で存在している裏口で、庶民が経済的精神的苦慮している中で、ここだけは共産主義の建前には似合わない別世界となつている。「赤い後継者」たちは不可能を可能にする特権が与えられていて、常に優遇された立場で庶民の上に君臨している。

こうした現実を踏まえて、中国の若者は今日に至っても奪権欲が強い。これは恐らく文化大改革の影響であろう。権力を手に入れれば、欲しいものは金がなくても手に入る事が出来、愛情すらも手に入れられると信じている傾向が、若者には強い。

また拝金主義の伝統を持つ中国は、金さえあれば社会的地位は自ずから高くなり、物質生活にも恵まれると考えている。だから若者の欲望は「権力」であり「金」である。複雑な社会構造を持つ、北京や上海などの都会では悪いが実体は、巧妙で見る事が出来ないが、地方では売店の店員までが、「走后門」方式の媚びを売る。

北朝鮮の背後で この国を操るのは中国だ



売店の店員の多くは、警察官や医師や党幹部と癒着し、隠然たる力を以て、小さな暴君に成り下がる。人民に供給する食糧も定員の意向次第で、不平等が生まれ、良質のものは階級の上の者から順に配給されることになる。肉、魚貝類、野菜、加工食品、幼児に飲ませるこのミルク、医療品、衣類などは、党幹部や警官が持ち去った後の僅かばかりが、庶民に、整列順に配給される。

中華人民共和国の紅十字会
 日本人には「紅十字会」というとあまり聞き慣れない名前である。分かりやすく言えば中国版の赤十字社の事であり、しかしこれは極めて巧妙に偽装されている。中国では公安当局の窓口となるのが、紅十字会であり、残留孤児で当時、中国に置き去りにされた日本人らは、今もなお、公安当局の厳しい監視の中で生きている。

そして一部の思想的無害と認められた一部の日本人が、日中赤十字協定に随い、帰国を申し出たものを吟味して、日本に帰国させるが、その多くは、公安当局の妨害に遭っている。紅十字会は中華人民共和国の外

交部と公安部に属し、人道や医療とは何の関係もない、実体の無い組織であり、表面的には「赤十字」の名を用い、赤十字の名で活動する時は、団長に有識者などの有名人を据え、外交部と公安部から派遣されたスタッフでチームを作つて演出されるものを組織する。この組織は中国の最高権力機関の公安部であり、このトップが、人道や医療の名を借りて日中間の工作活動をするのである。

特に北京紅十字会総会本部は最高機関であり、警察国家として猛威を振るっている。中国大陸を警察国家にしている公安部は、次に示す八つの部署に別れている。この切っ掛けを作つたのは、一九八〇年代、経済改革と対外的開放を予期してのことであり、当時公安部には「出入国管理局」が増設され、第六局であった「労改工作管理局」と「労改工作管理局」を「司法部」に移し、逆スパイ業務と防護業務を分離して、国外に触手を伸ばす「国家安全部」を設立した。

ちなみに第一局は政治思想に関する調査と保衛。
 第二局は経済、企業に関する調査と保衛。
 第三局は治安、戸籍および身分証明書の管理。
 第四局は国境、港湾、空港、駅の監視。
 第五局は武装公安軍ならびに国家警備。
 第六局は強制労働、生建公司の管理。
 第七局は国内に対する調査と捜査。
 第八局は人事に関する調査と捜査。

中国各地の観光地には、公安当局に所属する観光客相手の対外連絡部、公安部、旅遊局に属している寺院の僧侶らが監視役に当り、これを指揮統制するのは、中国共産主義青年団の幹部であり、彼等は「共青団員」と呼ばれ、外国人観光客を徹底的にマークし、同時に検察工作を行い、党中央検察工作隊員でもある。

また、北朝鮮の工作員とも接点を持ち、彼等を手下として支配すると共に、彼等に唯物論の学習と

検査工作の重要任務を与え、彼等を背後でコントロールしている。彼等をコントロールする手立ては、経済や政治、軍事や国家工作などの指令を下す。北朝鮮平壤市の地下鉄工事を完成させたのは、中国人民解放軍工兵隊であり、この工事は検査工作隊の幹部の指示によって遂行され、北朝鮮は工作隊から操られる恰好のターゲットとなつているのである。

また、中国の麻薬輸出は北朝鮮であり、北朝鮮は中国産の麻薬を入手する事によって、それを外貨獲得のビジネスにしている。北朝鮮は現在に至っても、中国から様々な支援を受けている。朝鮮戦争の折は、中国人民志願軍の兵士が朝鮮人の為に、多く死んだ。では何故、中国は北朝鮮を支援するのか。

ここには中国が展開する「プロレタリア国際主義」なるものが朝鮮戦争当時、働いていたからだ。共産主義の歴史から見て、北朝鮮は旧ソ連の属国的な歴史しかなく、日中戦争当時、日本軍が大陸に進出すると、「日本鬼子(日本軍)が中国を侵略した後、朝鮮人の兵隊ヤクザは『狐假虎威(虎の威を藉る狐)』で、日本人面して中国人を虐めまくる、女郎屋とヘロインの多角経営で稼ぎまくる、しかも朝鮮戦争及んでは、農民からも

半強制的に組織された中国人民志願軍の兵士が多く死んでいった。では何故、中国は朝鮮人の肩を持つのか。中国流に言えば、中国語に長けた朝鮮人は、中国語のできない日本人よりも陰険で賢い。何事も根に持ち、水に流す度量も、寛容さもない。まさに「論語」に出て来る「小人」である。しかしそれにも関わらず、中国は朝鮮半島がアメリカ帝国主義勢力のアジアからの排除と、日本を解放する為の最大の足掛かりとして、北朝鮮に橋頭堡を築こうとしているのである。朝鮮半島こそ、アジアに於ては戦略価値が大きいと看做しているからである。

これに於てイエスは云つた。「あなたたちの中で罪のない人が、まずこの女に石を投げよ」(『ヨハネによる福音書』第八章7) これを聞いた人々は、「老人をはじめ、一人一人去つた」(『ヨハネによる福音書』第八章9) そして誰一人として、刑を執行する者が居なかつたのである。

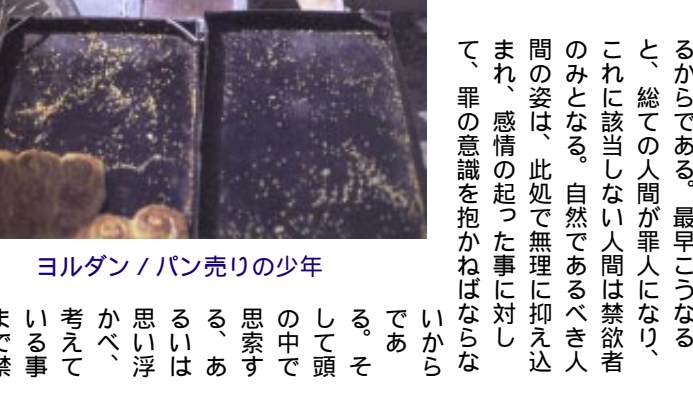
ユダヤ教に於ては、死刑執行は石打ちの刑である。これは役人が刑を執行するのではなく、民衆が自主的に、誰に命ぜられる事もなく行うのである。裁判は民衆参加の陪審制であるが、刑を執行するのは民衆である。ユダヤ教やイスラム教では、民衆は喜んで刑の執行に参加するのである。そして、刑の執行は民衆にとって、娯楽の一つであつたのである。

で、これまでの原則は覆されたのである。ここに以降、重要な意味を持つ事になる。欲望を抱いて、女を見ただけで、心の中では姦淫した事になるからである。最早こうなる、総ての人間が罪人になり、これに該当しない人間は禁欲者のみとなる。自然であるべき人間の姿は、此処で無理に抑え込まれ、感情の起つた事に対して、罪の意識を抱かねばならぬ。いから

「あなた達の中で罪のない人が、まずこの女に石を投げよ」

「あなた達の中で罪のない人が、まずこの女に石を投げよ」

「あなた達の中で罪のない人が、まずこの女に石を投げよ」



ヨルダン / パン売りの少年

この狙いは、罪の意識に陥れる為に仕組まれた罠であつた事が分かる。そしてこの裏には、禁欲主義を強制して、人間の苦しみや悩みを意図的導き出し、地獄への創造をつくり出したのである。

ここにキリスト教が、キリストの死後、歪められた教義を持つて現れる。

歴史を工学的に科学する

〒 802-0985
 北九州市小倉南区志井 6 丁目 11-13
 (尚道館ビル 2F)

九州科学技術研究所
 093(962)7802 FAX093(961)8224
 Eメール: science@daitouryu.com

九州科学技術研究所
 Kyushu technology Institute

九州科学技術研究所 URL
<http://www3.ocn.ne.jp/saigouha/>

大東流霊的食養道 HP
www.daitouryu.com/syokuyou/

癒しの杜の会 HP
www.daitouryu.com/iyashi/